

少しずつ寒さもやわらぎ、春の草花が芽を出し始めています。植物が芽を出し育っていく様子は、子ども達の成長を見ているかのようです。

雪解けを待ちかねたようにいち早く姿を現す草花の中にスプリング・エフェメラルと呼ばれる草花たちがあります。フクジュソウやカタクリの花も含まれます。カタクリは群がって咲きますが、晴れた日には花びらを後ろにそり返らせてからだいっばいに光をあびます。夜やお天気の悪い日には花びらを閉じて寒さで大切な花をいためないように注意をおこたりません。そんな知恵を子ども一人ひとりがそれぞれの方法で持っています。

お母さんに抱っこされて来ていた子どもたちが卒園して、もうすぐ入学すると思うと感慨深く、来られるたびに赤ちゃんの頃から読み合っていた絵本やその絵本とのエピソードを振り返りながらお話しています。一番手が掛かる時期の卒業です。これまで本が当によく頑張ったことを読みました。心よりのおめでとございます。

絵本を読み合うことは、子どもの心に緑の種をまくこと。いつでももお手伝いをいたします。そんな今日は、渡辺茂男さん作『しょうぼうじどうしゃじぶた』を3才のお誕生日の男の子と何度も読んでいます。



『心に緑の種をまく』
絵本のたのしみ
渡辺茂男 作
岩波書店より

ペンギン豆知識
ペンギンの仲間達 85

☆ペンギンクイズ

非常に柔軟で、餌の採餌習慣や戦略を絶えず変更しているペンギンは、何ペンギンでしょうか？



答え マゼランペンギン

普通はコロニーから16〜40kmの範囲で採餌しますが、餌の量が極めて少ない時期は、1回の旅で305kmも遠出することもあるそうです。

『ペンギン大図鑑』
ティビッド・サロモン作 出原速夫・
菱沼裕子訳 ペンギン基金
河出書房新社より



『春の妖精たち』
スプリング・エフェメラル
奥山多恵子 文・絵
福音館書店より

おすすめの絵本

今月のヒブリアラボでは、「春」、「ともたち」、「保育園・幼稚園」、「小学校」などをテーマとして「卒園・卒業おめでとう」絵本展を開催します。

世界中で一番の寝顔。あくびだって、静かな時にはカサカサゴソゴソ、いって静かな時にはカサカサゴソゴソ、中だっ。卒業。家族のたからもの。ふたりでドキドキした日。一人ひとり本心に違っています。周り比べてしまふと、なんだか心配になることだらけ。大切なことは「あなたにままだいよ」という気持ち。大切に育てること。特に子どもの心を育てるために、待つことも大切な姿勢です。ゆったりとした気持ちで、美氏のメッセージに安心出来ました。『と』という佐々木正人の本を読み終ったので、大人の方だけで「おちのかたへ」をそっと読んでみて下さい。子どもとふれあいながら育つことが大切です。



『6さいのきみへ』
佐々木正美 文
佐竹美保 絵
小学館より

司書 矢野 好美

